

新宿区立新宿福祉作業所

平成 25 年度（2013 年度）事業報告書

新宿区立新宿福祉作業所

電話 03-3232-3715

ファクシミリ 03-3232-3991

目次

I	はじめに	3
II	施設の概要	4
III	事業活動内容（支援実績その他）	6
1	作業支援	6
2	就労支援	10
3	生活支援	11
4	地域活動の支援	12
5	保健支援	14
6	給食サービス	14
7	安全対策	14
8	苦情解決事業	15
9	家庭との連携	15
10	施設に対する評価	15
11	被服貸与	15
12	その他	15
IV	利用者の状況	17
1	障害別一覧	17
2	年齢別一覧	17
3	在籍年数	18
4	退所者の状況	18
5	居住地分布	19

I はじめに

2013 年度事業総括

2013 年度は指定管理第二期の第 4 年目に当たります。比較的大きな定員数の区立施設として様々な課題への対応を求められた 1 年であったと思います。区立施設の公的性格から様々な方が施設を利用されます。従って就労継続支援 B 型の当施設がもつ就労支援に対するサービス内容と福祉的就労を望まれる方に対するサービス内容を同時に成立させる必要がありました。個別支援に近い形での見守り、音声・光などの環境に影響されやすい方にたいして小さなスペースを仕切って対応させていただきました。一方就労支援にも力を入れ就労のためのコースを充実させ、面談の訓練を行なうとともに、挨拶の仕方、身だしなみ、礼儀作法等についても練習を重ね積極的に企業面接に応募し 2 名の就労者を出すことができました。

2013 年度において課題として浮かび上がってきたのは、ご家族や利用者さんの高齢化の問題です。作業を中心として組まれたプログラムですので高齢化を迎えられた方が楽しんで作業できるように工夫しておりますが、けしてそれが無理のない状態であることを常に留意する必要がありました。こうしたながれのなかで利用者さんの地域における自立を支えるためには、ご家族と緊密に連携を取って行政を初めとして様々な福祉サービスに日頃から福祉サービスを必要とする方を繋いでゆく機能が一層重要さを増したことを痛感した一年でもありました。

ベーカリー事業は 2013 年度で 5 年目を迎えました。皆様のおかげで安定的な販売実績を重ね、その売り上げは重要な工賃資源となっております。新宿福祉作業所の商品が高い品質で地域の皆様に喜んでいただけるよう努力を重ねてまいりましたが、地域のイベントにおけるパン販売の際にお客様から「若松河田駅ナカ店でよく買っています。」とか「福祉センター内、ふれんど店によく行きます。」といった声をかけていただくことが多くなり地域での知名度の高まりを感じております。反面、地域における販売競争は強まっており大手量販店の進出を初めとする焼き立てパン事業への参入が目立つ 1 年でもありました。施設としては初心に立ち返り皆様に喜んでいただけるような高い品質のおいしいパンを提供する努力を継続するとともに、新たな受注への努力を重ねてまいりました。その結果、新たに社会保険中央総合病院様、国際医療センター様各売店へのパンの納入を開始することができました。安定的な受注の確保についてはホームページを更新してより効果的な営業面での活用を計画しており一層効率の良い受注活動を目指していく所存です。

2013 年度には新宿区立新宿福祉作業所のゆるキャラ「はなこ」が生まれました。作業所では数年前からふすま大の大きな紙に大筆で人物を描く「等身大アート」を始め、作品を区内、都内他区、さらに神奈川で展覧会を開いてまいりました。はなこはその中の 1 枚です。新宿福作にも所謂ゆるキャラがあっても良いのではないかという意見が自治会（ホットケーキ）で話し合われ、この絵が利用者さんの投票で選ばれました。名前も利用者さんが決め、手始めにワッペン、タオルハンカチ、Tシャツを作成してみました。利用者さんの作品でデザインされた商品を作製し販売することは長年の夢でしたがその元年ということになります。高いデザイン性と優れた品質を持つユニークな商品が地域の皆様のお手元に届くことを願ってさらに面白い商品をご提案していきたいと思います。そして皆様に新宿福祉作業所の事をより身近に感じていただけたらと存じます。

また 2013 年度は音楽療法の先生方のご協力により、新宿福作のテーマソングが誕生した年でもありました。利用者の皆さん全員の合唱で新年のつどいに於いて保護者様、行政の皆様、来賓のお客様に一般公開致しましたところたいへんな好評を博しました。この曲は新宿福作の活動内容を歌詞に盛り込み楽しい活動の様子を歌ったものです。この歌に描かれたようにこれからも職員一同、利用者の皆さまと一体となって進んでゆきたいと思います。今後とも新宿区立新宿福祉作業所をよろしく願いいたします。

II 施設の概要

1 設立の目的

一般の雇用関係に入ることが難しい知的障がいを持つ方等に、主に作業の場を提供するとともに、社会の一員として充実した生活ができるように、自立の助長を図るため新宿区立知的障害者援護施設条例に基づき設置されたものです。

2 施設種別

障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型施設（旧知的障害者通所授産施設）

3 所在地

新宿区戸山1丁目2番2号（新宿区立障害者福祉センター3階）

電話（3232）3715 FAX（3232）3991

4 建物の構造、規模

(1) 鉄筋コンクリート造り地下1階地上3階

(2) 福祉作業所部分床面積 1324.62 m²

5 組織及び職員構成（2014年3月31日現在）

常勤職員	人数	非常勤職員	人数
管理者（サビ管兼務）	1人	作業指導及び生活支援員	15人
（サービス管理責任者）	1人	栄養士	1人
作業指導及び生活支援員	7人	嘱託医	2人
目標工賃達成指導員	1人		
事務員	1人		
看護師	1人		
合計	12人	合計（嘱託医除く）	16人

○平成25年度異動・採用・退職状況

採用	常勤職員	2013年4月	2名採用
	常勤職員	2013年7月	1名採用
	非常勤職員	2013年11月	1名採用
退職	常勤職員	2014年3月	1名退職
	非常勤職員	2013年10月	1名退職
異動	常勤職員	2013年7月	1名異動（転出）
	常勤職員	2014年3月	1名異動（転出）

6 サービス実施日

下記の休業日を除く毎日

- (1) 土曜日 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 12月29日から翌年の1月3日までの日
- (4) その他事業者が別に定める日

7 利用時間

午前9時から午後5時まで

8 利用者定員

75名 2014年3月31日現在72名（現員）

9 利用料

障害者総合支援法令に基づき、障害者支援施設サービス（旧法知的障害者通所授産施設支援）／特別区／定員75人）介護給付費基準額、障害程度区分、所得区分による月額上限額、利用日数をもとに積算された額

10 沿革

1966年当時、利用者さんが減少傾向にあった東京都立の授産場のうち、小石川、大塚、及び神田の3授産場が福祉作業所に転換されました。これ以降、毎年数カ所ずつ、福祉作業所または高齢者授産場に転換され21ヶ所の福祉作業所が設置されました。また23区内の福祉作業所は1980年3月1日に、それぞれの区に移管されました。

- | | |
|------------|---|
| 1969年 4月1日 | 新宿区若葉3-6に東京都四谷福祉作業所（4級事業所）が開設され東京都杉並授産場事務所の所管となりました。 |
| 1972年 7月1日 | 組織改正に伴い、3級事業所に昇格し、既存の幡ヶ谷福祉作業所も所管することになりました。 |
| 1979年 4月1日 | 幡ヶ谷福祉作業所は、新設の杉並福祉作業所の所管となり、四谷福祉作業所は単独施設になりました。 |
| 1980年 3月1日 | 事務事業移管に伴い、東京都民生局（現福祉局）から新宿区保健障害福祉部の所管になりました。 |
| 1985年 4月1日 | 四谷福祉作業所の建物の老朽化が著しいため、新宿区戸山一丁22番2号に移転し、名称を「新宿福祉作業所」としました。 |
| 1988年 4月1日 | 組織改正に伴い4級事業所となり、障害者福祉センターに統合されました。 |
| 1991年 4月1日 | 高田馬場福祉作業所が、新宿区百人町4丁目4番2号に開設されました。 |
| 2001年 4月1日 | 組織改正に伴い、障害者福祉課に統合されました。 |
| 2004年 4月1日 | 法内施設化に伴い、知的障害者通所授産施設になり、指定事業者になりました。 |
| 2006年10月1日 | 障害者自立支援法の施行に伴い障害者支援施設（旧知的障害者通所授産施設）に位置づけられました。 |
| 2007年 4月1日 | 指定管理者として社会福祉法人日本キリスト教奉仕団が運営をはじめました。 |
| 2008年9月16日 | パン事業を開始し新宿区内3箇所に販売拠点を設けました。また、新宿区より緑化事業の委託を受けました。 |
| 2009年2月26日 | 都営地下鉄（大江戸線）若松河田駅構内店にて販売を委託され、開始しました。 |
| 2009年12月 | 指定管理第二期において、指定事業者となりました。 |
| 2010年4月1日 | 新法（障害者自立支援法）に移行しました。
新宿区勤労者・仕事支援センターより「みるっく」清掃作業の委託を受けました。
西早稲田キリスト教会館におけるパンと自主製品の販売を始めました。 |
| 2010年10月 | 横浜インターコンチネンタルホテルロビーにおける「等身大肖像画アート展」に参加しました。
水耕栽培の機械を導入し野菜の栽培を始めました。 |
| 2011年2月 | 渋谷区内にて「等身大アート展」を開催しました。 |
| 2011年3月 | 施設内にスノーブレンの設備を導入しました。 |

2011年4月	区内の老人福祉施設「神楽坂」でのパン販売を始めました。
2011年10月	大久保の日本福音ルーテル東京教会で「きぼう工房アート展」を開催しました。
2012年7月	ひまわり生命保険(株)様へのパン販売を始めました
2012年8月	スターバックスコーヒー高田馬場早稲田通り店で「等身大アートパネル展」を行ないました。
〃	2階調理実習室にて「福作パン教室」を開催しました。
2012年12月	ブリストル・マイヤーズ(株)、グラクソ・スミスクライン(株)への出張販売を行ないました。
2013年2月	神奈川銀行 神奈川日産自動車(株)百合丘ショールームにて「等身大肖像画アート展」を開催しました。
2013年4月	新宿福作ゆるキャラ「はなこ」が誕生しました。
2013年12月	NTT神奈川支店にて「等身大アート展」を開催しました。
2014年2月	社会保険中央総合病院、国際医療センター各売店へのパンの納入を始めました。

Ⅲ 事業活動内容（支援実績その他）

利用者さんが一人の人間として、働く社会人として、ノーマライゼーションの理念の下に、地域で安心して豊かな生活が送れるように支援します。支援にあたっては、利用者さんの人格を尊重し、人権擁護に努めます。また、自己選択・自己決定を尊重し、自己実現に向けて支援します。

1. 作業を通し、仕事への関心や理解を深めるとともに、社会人として、自立心を育み、地域生活を支援します。
2. 集団生活を通して、円滑な人間関係を養い、豊かな人間性を育て、充実した生活を送れるように支援します。
3. 社会生活を営むための基本的な生活習慣を身につけるよう支援します。
4. 利用者さんの状況を的確に把握し、ご家庭との連絡を密にし、個別支援計画を作成して、一人一人にあった支援をします。
上記、支援方針と法人理念に基づき事業運営・利用者支援をおこないました。

1 作業支援

(1) 作業支援方針

新たな委託作業を加え、製造、販売、配達等のベーカリー事業、アクセサリ等の自主製品の作成、緑化活動、清掃作業等の多岐に渡る作業支援を行い、作業の選択肢を増やし、利用者さんの潜在的な能力を高めてまいりました。

(2) 作業種目

- ①委託作業・・・芳香剤カードの作成 会報、通知文書の封入 ファイルのラベル貼り 雑誌の付録の詰め合わせ 他軽作業) 本の値札剥がし 箸等の袋詰め 綿の袋詰め
- ②ベーカリー作業・・・パンの製造、売店での販売、配送の手伝い、地域イベントへの出店販売
- ③自主製品作業・・・自主製品の作成、緑化推進事業の基本作業
- ④清掃作業・・・大ガード下「みるっく」での清掃作業

(3) 委託作業受注方針

下記の内容を満たす作業を選定し受注しました。

- ① 簡易な作業であり、習熟によって生産性が高められるもの。

- ② 具体的な作業計画を容易に作ることができ、また、安定的にかつ長期的に受注できるもの。
- ③ 作業に使用する材料、器具等が、人体に危険または有害でないもの。
- ④ 福祉作業所の役割を理解され、作業所との協力関係を持続していただける企業、団体から発注されたもの。なお、加工受託の契約は、「新宿区立知的障害者援護施設受託加工契約取扱要領」に基づいておこなわれました。

(4) 作業実績

2013 年度作業実績

単位円

年度	委託作業	ベーカリー事業	自主製品・緑化事業	合計
2000年度	5,973,649			5,973,649
2001年度	5,260,853			5,260,853
2002年度	5,453,113			5,453,113
2003年度	4,605,560			4,605,560
2004年度	4,228,049			4,228,049
2005年度	4,521,260			4,521,260
2006年度	4,115,115			4,115,115
2007年度	3,766,455			3,766,455
2008年度	4,450,785	6,382,274	1,071,850	11,904,909
2009年度	4,208,612	19,144,083	2,282,685	25,635,380
粗利益	(4,208,612)	(7,651,804)	(2,058,410)	(13,918,826)
2010年度	2,998,832	19,509,142	2,282,685	24,790,659
粗利益	(2,998,832)	(7,175,853)	(2,140,529)	(12,315,214)
2011年度	2,843,955	19,397,670	2,423,552	24,665,177
粗利益	(2,843,955)	(7,098,698)	(2,299,318)	(12,241,971)
2012年度	3,803,753	18,850,789	2,561,074	25,215,616
粗利益	(3,803,753)	(8,333,570)	(2,439,744)	(14,577,067)
2013年度	3,732,933	17,685,090	2,818,687	24,236,710
粗利益	(3,732,933)	(7,602,332)	(2,575,104)	(13,910,369)

※ () 内は仕入を除いた粗利益

2013 年度委託作業実績

単位千円

助川	188
アロマ	676
銀のさら	74
ボラセン	101
ラミネート	112
ふらっと	423
仕事支援センター	604
クラブハウス	188
イマジン	308
高田馬場	381
證大寺	42
心身障害者福祉センター	110
太極拳	33
選挙対策事務所	6
フレッシュフラワーズ	258
その他	227
合 計	3,732

(5) 工賃の支払い

新宿区よりの委託事業である「緑化推進事業」も 2013 年度継続が決まり、夏冬の賞与を支給しました。また、期末に一時金を支給致しました。

2013 年度工賃支払状況

	実動人員	実動時間	工賃総額	一人当たり工賃 (円)			時間単価
	人	時間	円	平均	最高	最低	円
4 月	74	6,308	808,502	10,926	23,417	672	128
5 月	74	4,871	646,772	8,740	18,480	448	133
6 月	73	6,088	792,402	10,855	22,812	950	130
7 月	72	5,900	751,826	10,442	17,660	2,184	127
夏季賞与			753,700	10,325			
8 月	74	5,418	705,428	9,533	21,136	615	130
9 月	74	5,726	718,263	9,706	18,433	1,932	125
10 月	70	5,513	696,417	9,949	18,110	1,176	126
11 月	71	5,314	688,845	9,702	20,480	392	130
12 月	70	5,463	703,470	10,050	21,747	641	129
冬季賞与			754,000	10,189			
1 月	72	3,973	513,351	7,130	16,771	784	129
2 月	72	5,301	663,493	9,215	18,410	420	125
3 月	71	5,303	665,048	9,367	17,821	1,176	125
期末賞与			1,500,000	21,126			
計	867	65,178	11,361,517	157,254	235,277	11,390	1,539
平均	72.25	5,432	946,794	13,104	19,607	950	129

2013 年度 作業室現員 (2014 年 3 月 31 日現在)

1号室	2号室	3号室	4号室	全室合計
29名	29名	8名	6名	72名

※3 月 31 日付けで 1 名退所

2 就労支援

公共職業安定所、公益法人新宿区勤労者・仕事支援センター等と連携し、一般就労可能な利用者さん及び希望者については、職場実習への積極的参加を促し就労支援に努めました。就労支援ネットワーク会議等に参加し、障がい者就労にかかわる最新の情報を得られるように努めました。

(1) 企業就労

2013年度は2名の就職が決まりました。

(2) 実習

年間利用者インターンシップ等派遣実績

	区分	人数	日数	人日	男	女
5月	介護保険課	1	2	2	1	0
6月	介護保険課	1	2	2	1	0
合計		2	4	4	2	0

年間利用者施設外派遣実績

	1号店	3号店	5号店	2号店	その他	合計
4月	17	27	42	2	2	90
5月	17	29	39	2	2	89
6月	15	26	33	2	0	76
7月	15	25	43	2	4	89
8月	9	19	35	0	3	66
9月	10	17	33	0	2	62
10月	13	26	44	0	4	87
11月	10	28	37	0	2	77
12月	5	16	33	0	4	58
1月	8	17	33	0	4	62
2月	12	15	37	0	4	68
3月	8	23	38	0	4	73
合計	139	268	447	8	35	897

年間利用者クリーンあした派遣実績

	派遣人数
4月	2
5月	2
6月	2
7月	2
8月	2
9月	2
10月	2
11月	2
12月	2
1月	2
2月	2
3月	2
合計	24

面接等派遣実績

時期	区分	内容	人数	日数	人日
4月	(株)第一食品	職場実習	1	6	6
5月	(株)第一食品	職場実習	1	3	3
6月	東京都予防医学協会	職場実習	1	5	5
	国立国際医療研修センター	職場実習	1	4	4
	東京しごと財団主催 職場体験実習面談会	セミナー	2	1	2
11月	就労体験プログラム 武道館イベント	就労体験	2	1	2

3 生活支援

(1) 支援目標

利用者さんが社会の一員として自立できるように、下記を目的として個別支援計画に基づき支援を行いました。

- ・ 社会人としての基本的な生活習慣を身につける。
- ・ 社会人としての責任感を高める。
- ・ 良い人間関係を持てるようにする。
- ・ 余暇活動を充実する。
- ・ 教養を高める。
- ・ 健康増進を図る。

(2) 支援内容

① クラブ活動

4月に利用者さんの要望を聞き、いくつかのクラブを提示。やってみたいクラブに応募してもらい以下のクラブに決定しました。3月の最終月では13時より各クラブで茶話会を兼ねた反省会を実施しました。

クラブ活動	在籍人員	内容
音楽クラブ1	14	主に合唱、カラオケなどを楽しむ。
音楽クラブ2	13	主に合唱、カラオケなどを楽しむ。
ｽﾎｰﾂｸﾗﾌﾞ	13	戸山サンライズ体育館での球技、輪投げを楽しむ
お散歩クラブ1	6	在籍者で目的地を決め、お散歩をし、移動先でお茶等をして楽しむ
お散歩クラブ2	6	在籍者で目的地を決め、お散歩をし、移動先でお茶等をして楽しむ
お散歩クラブ3	6	在籍者で目的地を決め、お散歩をし、移動先でお茶等をして楽しむ
美術クラブ	9	絵を描いたり、年間カレンダーなどを作成する

② 行事実績

実施日	内容	利用者参加人数
2013年6月20日～21日	バス1台にて福島スパリゾートハワイアンズへ1泊2日の旅行に行く。1日目はらら・ミュウにて乗船・昼食。2日目はアクアワールド大洗で楽しまれた。	33名
2013年6月27日～28日	バス1台にて福島スパリゾートハワイアンズへ1泊2日の旅行に行く。1日目はらら・ミュウにて乗船・昼食。2日目はアクアワールド大洗で楽しまれた。	26名
2013年9月4日	東京体育館にて花文字作り、100m走、綱引き、大玉ころがしに参加。スポーツクラブが参加。	6名
2013年9月20日	葛西臨海水族園見学、お台場のホテルにてランチ、その後フジテレビを見学し楽しまれた。	59名
2013年10月7日	チャリティー協会よりのご招待により、両国国技館における大相撲大会を観戦。グループ活動で参加。個人で観戦される方はチケットをお渡した。	4名
2013年12月11日～12日	新宿区内障害者福祉施設共同バザール・障害者作品展に参加。ベーカリーと自主製品で参加	11名
2013年12月15日	新宿区立障害者福祉センターにおけるお祭りに模擬店、自主製品販売等で参加	57名
2013年12月20日	余暇活動の一環として、一年の振り返りの発表や会食、レクリエーション活動を実施した。	60名
2014年1月10日	成人を迎える一名の利用者の成人式と、ゲストを迎え歌の披露、会食を楽しむ。	54名
2014年3月28日	1年間を振り返り反省する。利用者全員に対し表彰状をお渡りする。	70名

③自治会・委員会、係の活動

昨年に引き続き部屋ごとに代表者を選出し、自治会運営を行ないました。また、利用者さん全員が委員会に携わり、活動を行いました。例年通りのかわたれ係、掃除係、などの係の活動も行いました。施設の運営に関係する決定にかかわりました。(次年度の宿泊訓練の実施計画等)

④グループ活動

4月に行きたい所のアンケートを実施。それを基に5月から下記内容にて実施しました。

No.	行き先	日程	利用者	職員	総数
1	井の頭公園	5/24	5	3	8
2	横浜	7/12	4	3	7
3	羽田空港	7/19	5	3	8
4	渋谷	8/2	4	2	6
5	相撲観戦	10/7	4	3	7
6	上野動物園	10/11	4	2	6
7	とうきょうスカイツリー①	11/15	5	3	8
8	とうきょうスカイツリー②	11/29	6	3	9
9	三鷹の森ジブリ美術館①	1/17	4	2	6
10	藤子・F・不二雄ミュージアム	1/31	7	4	11
11	三鷹の森ジブリ美術館②	2/7	4	2	6
12	カラオケ①	2/21	6	3	9
13	カラオケ②	2/28	6	3	9
14	カラオケ③	3/7	6	2	8
合計			70	38	108

⑤通所の支援

利用者さんが安全に通所できるように下記の支援を行いました。

- ・朝はセンターが開所する7:40以降に登所して頂く様、お伝えをしました。
- ・連絡なく午前9時30分までに来所していない場合は、ご家族及び緊急連絡先に連絡し、状況確認をしました。
- ・寄り道しがちな利用者さんには、個別に話し合いを持ち、安全に帰れるように支援しました。
- ・作業所が3階にあることから、視覚及び下肢に障がいのある利用者さん、高齢の利用者さん、階段の利用が危険と思われる利用者さんについてはエレベーターを利用するように勧めています。
- ・原則として単独通所できる方が利用する施設ですが、必要に応じて(不安定な時など)通所時に保護者やガイドヘルパーの付き添いをお願いして対応しました。保護者、ガイドヘルパーの都合がつかない場合、職員が一時的に支援しました。
- ・帰りの会の時に事故などに注意して帰るように日々伝えていきます。
- ・信号がある横断歩道を渡るよう伝えていきます。信号がない横断歩道を渡る際は、安全に注意し渡るよう伝えていきます。

4 地域活動の支援

利用者さんが安心して地域に住み続けられるためにも、作業所と地域の人々との交流を深め、理解と協力が得られるように努めるとともに、関係機関との定期的な情報交換を実施し、連携強化を図りました。

- (1) 障がいをお持ちの方と地域の人たちとの交流行事である「センター祭」に若葉会(保護者会)と共に参加しました。又、地域で行われるイベントにも多く参加し交流を深めました。また地域の教会、百貨店、自動車販売店等で展覧会を開きました。

(2) 月刊紙「かわたれ」を発行し、関係機関等に配布し、所内の活動を紹介しました。配布先は、利用者さん、障害者福祉課、高田馬場福祉作業所、あした作業所、新宿生活実習所、障害者福祉センター、新宿区社会福祉協議会、新宿区勤労者・仕事支援センターなどです。

かわたれ発行 毎月初旬 年間発行回数 12回

(3) ボランティア、福祉実習生、作業実習生や見学者を積極的に受け入れました。

・実習生受け入れ

利用者実習・・・特別支援学校等の生徒、一般
福祉実習・・・短大、専門学校、大学の専門課程
体験実習・・・中学生等

・ボランティア（各種行事の支援等）受け入れ

宿泊訓練 4名、センター祭 16名
編み物教室講師1名（2011年4月27日～）
作業ボラ3名（不定期で入って頂きました）

・見学者受け入れ 原則として事前に連絡していただき受け入れました。

2013年度福祉実習生、研修生の受け入れ

月	人数	区分	派遣元	日数	人日
4月	3	福祉実習	北里大学	1	3
5月	3	福祉実習	北里大学	2	6
5月	3	福祉実習	北里大学	1	3
6月	3	福祉実習	北里大学	2	6
	17	福祉実習	首都医校	4	68
7月	2	交換研修	障害福祉課	1	2
	1	交換研修	あゆみの家	1	1
	1	交換研修	勤労者仕事支援センター	1	1
	1	交換研修	高田馬場福祉作業所	1	1
8月	2	福祉実習	東京医科歯科大学	1	2
	17	福祉実習	首都医校	4	68
9月	4	福祉実習	東京医科歯科大学	1	4
	2	交換研修	アガペセンター	2	4
	1	福祉実習	東京福祉保育専門学校	3	3
10月	9	福祉実習	東京福祉保育専門学校	9	81
	5	福祉実習	早稲田大学	5	25
2月	9	福祉実習	東京大学市民後見養成講座	2	18
合計	83			41	296

2013年度利用者実習（一般、養護学校等から）

月	人数	区分	日数	人日	男	女
6月	2	中野特別支援学校	10	20	2	
7月	1	一般	9	9	1	
9月	1	中野特別支援学校	1	1	1	
10月	1	中野特別支援学校	8	8	1	
	1	中野特別支援学校	9	9	1	
11月	2	中野特別支援学校	4	8	2	
	2	中野特別支援学校	5	10	2	
	1	一般	10	10	1	
2月	1	中野特別支援学校	5	5		1
	2	練馬特別支援学校	1	2	2	
合計			62	82	13	1

5 保健支援

(1) 日常健康管理

2012年7月より看護師が交代いたしました。引き続き看護師、生活支援員による観察あるいはご家族からの連絡により、日々利用者さんの健康把握に努め、利用者さんごとに健康手帳を作り、体重、血圧、検診の結果、その他必要事項を記入してご家族との連絡に使用しました。また、利用者さん、ご家族からの健康の相談にも対応しました。今年もインフルエンザの流行する時期には希望される利用者さんには予防接種を行ない、手指のアルコール消毒、手洗いやうがいの励行を呼び掛け、罹患を未然に防ぎました。

(2) 健康診断等実績

	項目	人数	実施日
春の健康診断	胸部レントゲン検査	62	8月7日
	心電図検査	63	〃
	尿検査	68	〃
	内科診察	63	〃
	身長・体重測定	71	〃
	血圧測定	70	〃
	採血	58	〃
	春以降の健康診断	55	1/24 2/21 3/28
	血圧測定	70	〃
	毎月の体重測定	70	毎月

(3) 服薬管理

服薬は原則的に自己管理としますが、ご家族より申し入れがあった場合には協議の上、薬の取扱いを決め、自己管理が不十分な利用者に対して、目薬の点眼、服薬確認のみを看護師や生活支援員が行ないました。また、災害に備え、慢性疾患等で常時内服する薬がある利用者さんより1週間分の薬を作業所でお預かりしています。

(4) 健康相談

嘱託医師（内科、神経科）の相談日を毎月一度設け、健康管理を受け付けました。利用者さんの精神的不安や、めまい、頭痛といった訴えに対する医学的な助言を行いました。

6 給食サービス

	利用者実績数
給食提供延べ日数	242日
延べ食数	11,180食
1日あたり平均食数	46.2食

7 安全対策

- (1) 避難訓練 ～障害者福祉センター全体の避難訓練に参加（年2回）
- (2) 危機管理の一環として、ヒヤリハットのマニュアルに基付き委員会を開いて事例研究を行なって事故を未然に防ぎました。
- (3) 二次避難所としてのマニュアルを作成しました。

8 苦情解決事業

- (1) 新宿福祉作業所第三者委員
春田 文夫 氏 （財）障害者職能訓練センター常務理事・他
村田 喜一 氏 （社福）新宿あした会 新宿あした作業所 所長
大石 剛一郎 氏 弁護士
- (2) 来所回数 12回
- (3) 苦情受付件数
苦情受付担当者受付 0件（面接0件）
第三者委員受付 27件（面接27件）
新宿福祉作業所第三者委員会議 年1回実施

9 家庭との連携

- (1) 保護者会の実施 年間10回（1月8月を除く毎月）
- (2) 部屋別懇談会の実施 毎回
保護者会の後、作業室ごとに、保護者と作業室の担当職員が話し合いを持つ
- (3) 保護者面談 3月に二者面談の形で実施

10 施設に対する評価

保護者アンケートを実施しました。

11 被服貸与

本年度は作業所のオリジナルエプロンを作り支給を行いました。またベーカーリーについては、専用の作業服等の支給を行いました。

12 その他

- (1) 権利擁護のための取り組み
職員は「利用者さんの人権を尊重する職員の基本姿勢」「利用者さんの人権を尊重する職員の基本姿勢に基づく行動指針」を遵守し、利用者の権利を守ることを前提として支援を行ないました。
- (2) 職員会議等の実施
職員は下記の会議等を通じて常に情報を交換し合い、組織として支援にあたるように努めました。
実績 朝・夕の申し送りミーティングを毎日実施
職員会議 月1回実施
部屋カンファレンス 月1回実施
支援検討会議 月1回実施
リーダー会議 月2回実施
ヒヤリハット委員会 月1回実施

職員研修受講状況

年月日	研修名	主催	名前	金額	人日数	区分
2013年5月13日14日	新任職員研修	東京都社会福祉協議会	坂本志織	15,000	1	2
2013年5月21日	特定給食管理講習会	新宿区	山口弘子	0	1	1
2013年5月23日	ボランティア・コーディネート	東京都社会福祉協議会	三浦正樹	2,000	1	1
2013年5月27日	健康長寿をつくる「腸」と「食」	朝日新聞社	山口弘子	0	1	1
2013年5月27日	成年後見制度基礎研修	東京都社会福祉協議会	毛利龍夫 三浦正樹	0	2	2
2013年5月29日	コミュニケーションスキル	東京都社会福祉協議会	岩城由美 坂本志織	0	1	2
2013年6月14日、15日	新任職員研修	東京都社会福祉協議会	坂本志織	15,000	2	1
2013年6月25日	新任職員研修	日本キリスト教奉仕団	岩城由美 坂本志織 西村拓真	0	3	3
2013年7月17日	成人期の支援を考える	東京都障害者通所活動施設職員研修会	大西政嗣	5,000	1	1
2013年7月20日	利用者支援研究会（第5回）	東京都社会福祉協議会	大西政嗣	0	1	1
2013年8月3日	第20回味の素M「食と健康セミナー」	味の素株式会社	山口弘子	0	1	1
2013年8月29日	障害者差別解消法についての学習会	新宿区社会福祉協議会	毛利龍夫	0	1	1
2013年9月11日	福祉施設における地震災害対策の新しいカタチ	東京都社会福祉協議会	宮部雅敬	2,000	1	1
2013年9月19日	地域自立支援生活を支援する通所施設	東京都社会福祉協議会	三浦正樹	1,000	1	1
2013年9月24日	東京の障害者就労を考える	東京しごと財団	毛利龍夫	0	1	1
2013年10月30日	事例検討の意義・方法を考える	東京都社会福祉協議会	大西政嗣	0	1	1
2013年11月11日	福祉施設におけるリスクマネジメント研修	株損保ジャパン	宮部雅隆	0	1	1
2013年11月12日	嚙む効用を考える	日本咀嚼学会	山口弘子	0	1	1
2013年11月19日	障害者総合支援法について	株内田洋行	宮部雅隆	0	1	1
2013年11月22日	自立支援協議会セミナー	東京都心身障害者福祉センター	毛利龍夫	0	1	1
2013年11月25日	新任職員フォローアップ研修	東京都社会福祉協議会	坂本志織	0	1	1
2013年12月5日	社会福祉法人が存在意義を発揮するために	東京都社会福祉協議会	毛利龍夫	0	1	1
2013年12月5日	肥満、生活習慣病の予防・改善と食事処方	日本医師会	山口弘子	0	1	1
2013年12月10日	口腔機能向上指導者講座	新宿区	富樫勝江	0	1	1
2013年12月21日	強度行動障害の対応とアプローチ	東京都福祉保健局	池田夏美	0	1	1
2014年2月3日、4日	管理職員研修	東京都社会福祉協議会	毛利龍夫	20,000	1	2
2014年2月12日	相談支援と意思決定支援	砧地域障害者相談支援センター	毛利龍夫	0	1	1
2014年2月13日	障害者相談窓口職員研修	新宿区障害者福祉課	富樫勝江	0	1	1
2014年2月15日	サービス管理責任者研修	東京都福祉保健局	松田有貴	0	1	1

IV 利用者の現況

1、 障害別一覧（各年度とも4月1日現在）

（単位人）

	知的障害								小計	身体障害			合計
	男				女					男	女	小計	
	重度	中度	軽度	計	重度	中度	軽度	計					
1998年度	9 (4)	21 (1)	7 (1)	37 (6)	1 (1)	21 (2)	5 (2)	27 (5)	64 (10)	3	3	6	70 (16)
1999年度	7 (3)	21 (1)	7 (1)	35 (9)	1 (1)	23 (3)	6 (2)	30 (6)	65 (11)	3	2	5	70 (16)
2000年度	7 (2)	20 (2)	8 (1)	35 (5)	1 (1)	23 (4)	5 (1)	29 (6)	64 (11)	3	2	5	69 (16)
2001年度	7 (2)	19 (1)	8 (1)	34 (4)	1	24 (4)	5 (2)	30 (6)	64 (10)	3	1	4	68 (14)
2002年度	9 (2)	19 (2)	8 (1)	36 (5)	1	25 (4)	5 (2)	31 (6)	67 (11)	3	1	4	71 (15)
2003年度	10 (2)	20 (2)	8 (1)	38 (5)	1	25 (3)	5 (3)	31 (6)	69 (11)	3	1	4	73 (15)
2004年度	10 (2)	18 (2)	9 (2)	37 (6)	1	23 (2)	6 (4)	30 (6)	67 (12)	2	1	3	70 (15)
2005年度	10 (2)	18 (2)	8 (1)	36 (5)	1	23 (2)	5 (3)	29 (5)	65 (10)	2	1	3	68 (13)
2006年度	10 (2)	20 (2)	9 (2)	39 (6)	1	21 (1)	6 (4)	28 (5)	67 (11)	1	1	2	69 (13)
2007年度	10 (2)	19 (1)	7 (1)	36 (4)	0	21 (1)	5 (3)	26 (4)	62 (8)	1	0	1	63 (9)
2008年度	8 (1)	21 (2)	8 (1)	37 (4)	1	20 (2)	6 (2)	27 (4)	64 (8)	1	0	1	65 (8)
2009年度	10 (1)	21 (2)	7 (1)	38 (4)	2	19 (2)	7 (2)	28 (4)	66 (8)	1	0	1	67 (8)
2010年度	7 (1)	24 (2)	10 (2)	42 (5)	2	20 (2)	6 (2)	28 (4)	69 (9)	1	0	1	70 (9)
2011年度	9 (1)	25 (3)	11 (4)	45 (8)	2	19 (2)	6 (2)	29 (4)	74 (12)	1	0	1	75 (12)
2012年度	9 (1)	25 (3)	10 (2)	44 (6)	3	20 (2)	7 (2)	30 (6)	74 (10)	1	0	1	75 (10)
2013年度	10 (1)	22 (3)	11 (2)	43 (6)	3	21 (2)	6 (1)	30 (3)	73 (9)	1	0	1	74 (10)
2014年度	14	22 (3)	10 (2)	46 (5)	2 (1)	22 (2)	5 (1)	28 (4)	74 (9)	1	0	1	75 (9)
(注)	() 内は、身体障害との重複再掲												
	※精神障害との重複は男性で2名												

2 年齢別一覧（各年度とも4月1日現在）

（単位人）

	男							女							小計	合計
	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	小計	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	小計		
1998年度	3	17	10	9	0	1	40	0	9	4	16	1	0	30	70	
1999年度	0	20	7	9	1	1	38	3	7	6	14	2	0	32	70	
2000年度	0	19	8	8	2	1	38	4	6	7	10	4	0	31	69	
2001年度	1	17	9	7	2	1	37	1	8	8	10	4	0	31	68	
2002年度	4	15	10	6	3	1	39	2	7	8	10	5	0	32	71	
2003年度	4	16	13	6	2	0	41	3	6	9	7	7	0	32	73	
2004年度	1	16	13	6	3	0	39	2	6	9	7	7	0	31	70	
2005年度	0	13	12	9	4	0	38	0	8	8	7	7	0	30	68	
2006年度	3	10	14	10	2	1	40	0	7	8	6	8	0	29	69	
2007年度	2	12	13	7	2	1	37	1	6	6	5	8	0	26	63	
2008年度	0	12	16	5	4	1	38	1	5	8	4	8	1	27	65	
2009年度	1	11	18	5	3	1	39	0	7	5	7	7	2	28	67	
2010年度	2	13	18	5	3	1	42	1	7	3	9	5	3	28	70	
2011年度	2	14	18	7	3	2	46	1	6	4	10	5	3	29	75	
2012年度	1	13	18	8	3	2	45	3	7	4	7	6	3	30	75	
2013年度	1	14	15	11	2	1	44	3	7	5	5	6	4	30	74	
2014年度	5	9	17	13	2	1	47	0	10	4	4	5	5	28	75	

※2014年4月1日現在

最高年齢 68歳

平均年齢 40.7歳

3 在籍年数（各年度とも4月1日現在）

（単位人）

	男						女						合計
	15年以上	10～15年未満	5年～10年未満	1年～5年未満	1年未満	小計	15年以上	10～15年未満	5年～10年未満	1年～5年未満	1年未満	小計	
2000年度	13	3	14	8	0	38	11	3	10	6	1	31	69
2001年度	13	2	14	7	1	37	11	4	10	5	1	31	68
2002年度	13	6	12	4	4	39	11	7	9	4	1	32	71
2003年度	12	6	11	4	8	41	10	6	9	3	4	32	73
2004年度	11	10	8	9	1	39	10	6	8	7	0	31	70
2005年度	12	12	5	9	0	38	11	9	4	6	0	30	68
2006年度	11	10	5	9	5	40	12	9	3	5	0	29	69
2007年度	13	9	2	11	2	37	12	8	2	3	1	26	63
2008年度	19	5	6	7	1	38	17	3	5	2	0	27	65
2009年度	18	5	6	7	3	39	17	3	4	2	2	28	67
2010年度	17	5	6	10	3	41	16	3	4	4	2	29	70
2011年度	21	2	9	9	5	46	16	2	3	6	2	29	75
2012年度	22	2	9	11	1	45	15	2	3	7	3	30	75
2013年度	20	6	6	10	2	44	16	3	2	8	1	30	74
2014年度	20	6	8	8	5	47	15	3	4	6	0	28	75

4 退所者の状況

（単位人）

	他施設	家事都合	就労	転居	長期入院	死亡	就学	計
2001年度末までの累計	40	34	20	14	7	5	1	121
2002年度退所者	2	2	0	0	0	1	0	5
2002年度末までの累計	42	36	20	14	7	6	1	126
2003年度退所者	1	2	1	0	0	0	0	4
2003年度末までの累計	43	38	21	14	7	6	1	130
2004年度退所者	0	0	1	0	0	1	0	2
2004年度末までの累計	43	38	22	14	7	7	1	132
2005年度退所者	1	2	0	1	0	1	0	5
2005年度末までの累計	44	40	22	15	7	8	1	137
2006年度退所者	4	0	1	0	0	1	0	6
2006年度末までの累計	48	40	23	15	7	9	1	143
2007年度退所者	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年度末までの累計	48	40	23	15	7	9	1	143
2008年度退所者	0	0	0	0	0	0	0	0
2008年度末までの累計	48	40	23	15	7	9	1	143
2009年度退所者	2	0	0	0	0	1	0	3
2009年度末までの累計	49	40	23	15	7	10	1	145
2010年度退所者	1	0	1	0	0	0	0	2
2010年度末までの累計	50	40	24	15	7	10	1	147
2011年度退所者	1	0	0	1	1	1	0	4
2011年度末までの累計	51	40	24	16	8	11	1	151
2012年度退所者	1	0	1	0	0	1	0	3
2012年度末までの累計	52	40	25	16	8	12	1	154
2013年度退所者	2	1	2	0	0	0	0	5
2013年度末までの累計	54	41	27	16	8	12	1	159

5 居住地区分 (2014年4月1日現在)

新宿区	67人	江東区	1
江戸川区	1人	西東京市	1
渋谷区	1人	杉並区	1
台東区	1人	千代田区	1
練馬区	1人		